

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

332号

2018年10月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

ゆるやかな連邦制統一時代の幕開け

●夢のような3日間—ピョンヤン首脳会談

夢のような三日間だった。9月18日から20日、ピョンヤンで開催された南北首脳会談。ピョンヤン国際空港に降り立った文在寅(ムンジェイン)大統領夫妻を金正恩(キムジョンウン)委員長夫妻が満面の笑顔で出向かえ、両首脳が同乗したカーパレードは沿道のピョンヤン市民の熱烈な歓迎を受けた。首脳会談は3時間に及び「9月ピョンヤン宣言」が発表された。文在寅大統領は、5・1競技場で南側首脳として初めて15万ピョンヤン市民を前に演説し、大歓声で演説は何度も中断した。最終日に朝鮮半島の最北端、白頭山(パクトサン)に登頂した両首脳は「新しい歴史を記そう」と誓った。歴史の新たなページが開かれた感動の日々だった。



▲白頭山の頂上で記念撮影をする南北両首脳

「金剛山観光」の再開に合意するとともに、新たな経済協力事業として「西海経済共同特区」及び「東海観光共同特区」の建設について協議を始めることに合意した。軍事的衝突の危険性が最も高かった西海(黄海)地域が平和と繁栄の象徴へと変わり、東海に位置する金剛山は世界的な観光名所になるだろう。

●北側の破格の措置で朝米関係改善の展望

南北協力事業の最大の障害は国連制裁決議だ。これを打開していくためには朝米関係の改善が不可欠だ。そのために非核化に関する項目で、北側は東倉里(トンチャンリ)のミサイルエンジン試験場とミサイル発射台の永久廃棄を約束するとともに、寧辺(ニョンピョン)核施設の永久廃棄の用意がある

と明記した。政権内外の反対勢力の抵抗によってシンガポール共同声明の履行が足踏み状態にあるが、北側の破格の措置によって朝米関係改善の展望が大きく開かれた。

最後に、金正恩委員長のソウル訪問が明記された。ソウルを訪問した金正恩委員長は、文在寅大統領とともに朝鮮半島最南端、済州道の漢拏山(ハンナサン)に登頂するだろう。「白頭から漢拏まで祖国は一つ」。ゆるやかな連邦制統一時代の幕開けだ。

この日を信じて困難な時代をともに歩んだすべての人々と喜びを分かち合いたいと思う。そして、平和と統一の新しい時代をともに築いて行きたいと思う。平和と統一の新しい時代を私たちの手で！(金五)

●「板門店宣言」のロードマップ「9月ピョンヤン宣言」

「9月ピョンヤン宣言」は「板門店宣言」を履行するためのロードマップともいえるものだ。第1項目は軍事問題だ。「板門店宣言軍事分野履行合意書」を「ピョンヤン共同宣言」の付属合意書として採択し、その履行のために「南北軍事共同委員会」を発足させることを明記した。付属合意書では、戦争の危機を解消し、平和体制を確立するための具体的な方策が詳細に定められている。事実上の戦争終結宣言であり平和協定のひな形ともいえる内容だ。

第2項目は経済問題だ。「東海(トンヘ)線」と「西海(ソヘ)線」の鉄道及び道路の連結のための着工式を年内に行うと明記した。南北をつなぐ大動脈がよいよ実現することになった。また、南北協力事業の象徴である「開城工業団地」と

文在寅政権の平和・統一政策について 講義を受け、活発な討論を行う

2018年韓統連中央本部主催学習会

今年に入り3度目の南北首脳会談が開催されるなど、朝鮮半島情勢に劇的な変化が起きている中、韓統連中央本部の主催で「2018年学習会 文在寅政権の平和・統一政策」が9月16日(日)、学働館(大阪市西区)で開かれた。

学習会では、金隆司(キム・ユンシ)韓統連大阪本部代表委員が「私たちは日頃から確信を持って活動することが大切です。そのための今日の学習会です。正しい情報のもと、正しい認識を持ち、確信をもって活動していきましょう」と開会挨拶を行った。



▲講義をする宋世一副議長

続いて、宋世一(ソウ・セイル)韓統連中央本部副議長が講義を行った。宋副議長は初めに、文在寅政権が継承する金大中政権と盧武鉉政権の平和・統一政策を振り返り「金大中政権の最大の成果は、金正日国防委員長との間で、祖国統一の大綱である6・15共同宣言を公表したことであり、金大中政権を引き継いだ盧武鉉政権は、祖国統一の実践綱領となる10・4宣言を公表したことが成果である」と評価した。

次に、文在寅政権の平和・統一政策について宋副議長は、文在寅大統領の就任辞(2017/5/10)、新ベルリン宣言(2017/7/6)の内容について解説しながら「文政権の平和・統一政策の基本路線は“平和共存による共同繁栄”であり、朝鮮半島の恒久的な平和体制構築に力点が置かれている」と指摘して、「そうしたことが4月の南北首脳会談と新たな統一の里程碑となる板門店宣言の発表へとつながった」と語った。

そして、文政権の平和・統一政策の課題として「文政権以降も板門店宣言が継承されるための国

会批准。南北の平和共同体・経済共同体を構築するだけでなく、祖国統一に向けた実践が重要だ」と主張した。

講義後は、活発な質疑討論が行われ、最後に、崔孝行(チェ・ヒョハク)韓統連兵庫本部代表委員が閉会挨拶を行い、学習会は終了した。

日本はピョンヤン宣言に立ち返り、 敵対関係を解消すべき 日朝ピョンヤン宣言16周年集会

日朝ピョンヤン宣言発表から16年を迎え、韓統連大阪本部も加盟している日朝国交正常化の早期実現を求める市民連帯・大阪の主催で「ピョンヤン宣言から16年 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会」が9月14日(金)、エルおおさか(大阪府中央区)で開かれた。

集会では、日朝市民連帯・大阪共同代表である大野進さんが主催者挨拶を通じ「日朝ピョンヤン宣言が発表され16年が経過したが、安倍政権は日朝ピョンヤン宣言を支持しない勢力と一緒にあって朝鮮敵視政策を継続している」と指摘しながら、「朝鮮半島情勢は平和・繁栄へと変化している。私たちも一日も早い日朝国交正常化実現を安倍政権に訴えていこう」と語った。

次に、朝鮮大学校文学歴史地理学部准教授の李柄輝(イ・ビョンフイ)さんが「朝米首脳会談の意義と日朝関係の展望」をテーマに講演を行った。



▲朝米関係などについて講演をする李柄輝准教授

李准教授は初めに、4月の南北両首脳による板門店宣言と6月の朝米両首脳によるシンガポール共同声明の意義について「板門店宣言では朝鮮戦争の終結に向けて南北首脳が民族協調に同意するとともに、シンガポール共同声明では朝米首脳が平和体制の構築と朝鮮半島の完全非核化に向けて合意したこと」と指摘した。

続いて、朝米関係の膠着状態が続いていることについて「米国内の既得権勢力やネオコンの反発＝対朝鮮経済制裁が強化されているのが大きな要因」と語った。

そして、李准教授は「9月の韓国特使団が訪朝した際、金正恩委員長が再度非核化の意志を表明し、トランプ大統領の反応も肯定的で両者には信頼関係ができています」とし、11月の米国中間選挙前に第2回朝米首脳会談が開かれることを示唆し、最後に日朝国交正常化に向けた日本政府の課題として「日本政府が日朝ピョンヤン宣言に立ち返り、敵対関係を解消することが重要だ」と訴えた。

講演終了後は、質疑応答が行われ、続いて、城北ハッキョを支える会の大村和子さんから、台風21号で被害を受けた各地域の朝鮮学校への緊急支援要請、日朝市民連帯・大阪事務局の古賀滋さんが集会決議の朗読を行い、最後に、日朝市民連帯・大阪共同代表の長崎由美子さんが閉会挨拶を行い、集会は終了した。

「歴史の意志を实践する」に込めた 金政夫所長の想いを共有する

韓統連生野支部連続学習会

韓統連生野支部連続学習会「歴史の意志を实践する」の第1回、「金政夫先輩、天国からのメッセージ」が9月9日(日)、韓統連生野支部で開かれた。



▲金政夫所長の略歴などを報告する金昌範代表

今回は「歴史の意志を实践する」を著作した金政夫(キム・ジョンブ) 裴東湖記念研究所所長(韓統連中央本部前議長)の略歴と「歴史の意志を实践する」の発刊への想いを、金昌範(キム・チャンボム) 韓統連生野支部代表委員が報告した。

金代表は、金政夫所長が韓青生野北支部再建を

機に民族運動に参加してから、2014年8月に亡くなるまでの主な略歴を紹介するとともに、特に、闘病期間中の金所長や家族の想いを涙ながらに語った。

そして、金所長が「歴史の意志を实践する」を発刊した意味について「活動の方法論の前提となる最も本質的な“ものの見方、考え方”を養うこと。自分の人生と活動について統一的に理解する主体的で能動的な姿勢と活動するための理論を身に着けること」などについて金代表が紹介し、最後に、10・4宣言1周年を記念して2008年10月に開催された「統一・平和・和解」で主催者挨拶する金所長の映像が上映され、金所長を偲んだ。

次回10月14日から本格的に「歴史の意志を实践する」の内容について学習会を開催する。

高校無償化裁判 大阪高裁が不当判決 原告・支援者など上告審で勝利を誓う！ 大阪高校無償化裁判控訴審判決



▲大阪高裁前で不当判決を伝える弁護士

大阪朝鮮学園が、日本国が大阪朝鮮高級学校を高校授業料無償化対象にするよう訴えていた裁判で、9月27日(木)大阪高裁(大阪市北区)は第1審判決を覆し、無償化除外は適法という不当判決を下した。

同日夕方には、朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪の主催で報告集会がクレオ大阪中央(大阪市天王寺区)で開かれた、

集会では、弁護団から判決についての報告をはじめ大阪朝鮮高級学校生徒、保護者、韓国ゲストからのアピールなどを通じ「不当判決を認めることはできない」「上告審で必ず勝利する」ことを集会参加者全体で確認した。

韓青ソウル夏期講習会2018活動報告②

韓青大阪府本部委員長 趙暎和(チヨ・ヨンファ)

ソウル夏期講習会3日目の朝。宿舎のソウル国際ユースホテル内のブックカフェに集まり歌の練習。この日の夜にはメインイベントである韓国青年連帯の青年たちとの交流会があり、そこで披露するノレ(歌)「行こう統一へ」を律動を交えながら練習。入念なチェックをして準備万端。

まずこの日の行事として最初に向かったのは、駐韓日本大使館前の水曜デモ。8月15日の猛暑の中、近くのビル前の広場に大勢の人が。連帯の挨拶では海外の、特に今でも紛争が続いている地域の女性活動家たちによるメッセージがあり、日本軍「慰安婦」の問題を超えて今、世界で起こっている抑圧の現実に対して一致団結して声を上げる、そのような集会でした。私たち韓青もアピールを行い、拍手と大歓声の中会場を後にしました。

の公式な謝罪はなく、この間も多くの被害者のハルモニが亡くなっている現状を目の当たりにし、私たち韓青も真摯に向き合っていく決意を新たに博物館内の掲示コーナーに、私たちのメッセージを添えました。



▲国内で活動する青年たちとの記念写真

そして待ちに待った現地の青年同志との交流会。サプライズの連続！会場ではキャンドル集会以司会進行を務められたユン・ヒスクさんから、キャンドル革命に対して「フリードリヒ・エーベルト財団」から送られた人権賞状が、金承民(キム・スンミン)韓青中央本部委員長に授与されるというパフォーマンスがあり、とても感動的な場面を目にし、私も思わず目頭が熱くなりました。

そしてなんと！我らが韓青大阪本部の柳秀根(ユ・グン)同志の誕生日がこの日でしたので、韓国青年連帯の皆さんと一緒に盛大にお祝いをしました。お互いの文化公演も披露したところで最後は会場の全員で「京義線に乗って」を踊り、交流会は終わりました。

最終日は宿舎で閉会式を行い、韓青は各地方への帰途につきました。



▲水曜デモに参加した夏期講習会参加者

昼食をとると、今度は韓日軍事情報包括保護協定に反対する集会在、現在日本大使館の仮設事務所が置かれているビル前で行われました。私たちが到着したころには、すでにビル前には大勢の警察の姿が。記者会見という形で進行し、それぞれが手に持っている抗議の文書を大使館職員に手渡そうとして警察側ともみあいになり、結局、手渡すことはできませんでした。

ハードなスケジュールを終え、一行は「女性と人権博物館」へ。1991年の金学順(キム・ハクソン)ハルモニの証言によって明らかになった日本軍「慰安婦」問題。しかし、未だに日本政府から



朝鮮半島が平和と統一へとダイナミックに前進しています

平和・統一フェスタ2018

実行委員長 金隆司 (キム・ユンサ)

10月28日(日)クレオ大阪東ホール(大阪市城東区)で、「平和と統一の新しい時代を私たちの手で! 平和・統一フェスタ2018(主催:同実行委員会)」が開かれます。今号では、金隆司実行委員長にフェスタの開催趣旨、主な内容などについてお聞きしましたので紹介します。

Q:「平和・統一フェスタ2018」の開催趣旨を教えてください。

A:2018年は統一元年ともいえる年です。

1年に3回も南北首脳会談があり、4回目も予定されています。6月にはシンガポールで史上初めて朝米首脳会談が実現しました。南北の画期的な関係改善を中心軸に、朝米関係をも改善しながら、朝鮮半島が平和と統一へとダイナミックに前進しています。東アジアの冷戦体制が大きく音をたてて崩れようとしています。このような時代の流れをしっかりと認識し、私達の手で、この動きをより推し進めていこうというのが今回のイベントの趣旨です。

Q:平和・統一フェスタの特色は?

A:平和と統一はすべての在日同胞の思いなので、気軽に参加してもらえるように文化公演を中心に構成しています。

毎年、春に統一マダン生野を開催していますが、マダンは野外での開放的な行事ですが、今回は室内行事ですので、室内の利点を活かしてゆっくり、じっくり鑑賞してもらい、楽しく充実した時間を過ごしてもらえるような内容を準備しています。

Q:日本の方にも参加を呼び掛けているんですか?

A:もちろんです。朝鮮半島の平和と日本の平和は表裏一体です。去年の総選挙で安倍政権は「北朝鮮の核・ミサイルが日本の国難」だと危機を煽って勝利しました。今の流れは「日本の国難」を解決する良いチャンスです。平和を愛する日本の

方にも参加と協力を呼びかけ、出演にも協力してもらっています。

Q:主な企画と進行状況を教えてください。

A:第1部の文化公演では、朝鮮舞踊と韓国のチャング演奏・三鼓舞(三面太鼓)で南北の文化の交流です。川口真由美さんは平和をメッセージに活動され、毎年韓国にも行かれています。統一時代の

主演は青年です。在日同胞青年有志のサムルノリと建国・朝高吹奏楽部OB・OG有志によるコラボ演奏も予定しています。

第2部はアンサンブル「歌と映像でつづる平和と統一の新しい時代」です。日本では報道されない様々な映像と歌を交えて、「統一元年」を体感してもらおう

と練習に励んでいます。

Q:最後に自主の読者の皆さんにアピールを。

A:去年の10月にKCC会館で10・4宣言10周年記念のイベントを行い、皆さんの協力のお陰で盛況に終わることができました。その成果を土台に今回のイベントを企画しましたが、今回は去年よりも規模も大きく、内容も豊富です。皆さんの期待を裏切らないものを準備していますので、ぜひ周辺の方にも広く呼びかけて、気軽に会場に足を運んでいただけたらと思います。

春の「統一マダン生野」とともに、秋の「平和・統一フェスタ」が定着するように皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



▲金隆司実行委員長

◆韓国ドラマ紹介◆

町の弁護士 チョ・ドウルホ

今年も残すところ3ヶ月ほどになりました。今号では韓国ドラマを紹介します。

タイトルは「町の弁護士チョ・ドウルホ」。タイトルを見てドラマの内容が分かりますね。庶民の味方、正義感の強い熱血な弁護士が主人公です。

物語を紹介します。将来を有望視されていた検事チョ・ドウルホは、財閥のチョン会長の不正を暴いたことで、逆に汚職の濡れ衣を着せられて犯罪者となってしまいます(韓国ドラマでよくある人物設定=財閥の会長とドウルホの上司は仲が良い)。

ハメられたドウルホは全てを失い、ホームレスになり焼酎を飲み荒れる毎日。しかしある時、昔自分が関わった事件の真犯人が逮捕されたというニュースを聞き驚いたドウルホは、自

分のせいで犠牲者が生じたことに責任を感じ、心を入れ替え、町の弁護士になって弱者の味方として生きていこうと決意するのです。

彼は弁護士事務所を開設。カムジャタンのお店の立ち退き訴訟や幼稚園内での幼児虐待に関する裁判など様々な裁判を闘います。もちろんドラマの後半では、ドウルホをハメた元上司とチョン会長と闘うのは韓国ドラマのお約束です。

このドラマは韓国でも好評で、現在パート2が製作されています。きっと韓国社会で今も蔓延する不正や腐敗、理不尽な出来事に立ち向かうドウルホの姿が、庶民の好感を得ているのだと思います。ぜひご覧ください。(ソン)



◆行事案内◆

平和と統一の新しい時代を私たちの手で！
平和・統一フェスタ2018

日時：10月28日(日)午後1時30分 開場 午後2時 開演

場所：クレオ大阪東ホール(JR京橋駅南口から徒歩約9分)

内容：第1部：文化公演

打舞楽によるチャンゴ演奏・三鼓舞(三面太鼓)

文芸同大阪支部・舞踊部による朝鮮舞踊

建国・朝高吹奏楽部OB・OGによる吹奏楽の演奏

在日同胞青年有志によるサムルノリ・川口真由美さんによるコンサート

第2部：アンサンブル「歌と映像でつづる平和と統一の新しい時代」

チケット：前売り：1000円(当日：1500円)高校生以下は無料

主催：平和・統一フェスタ2018実行委員会 TEL06-6711-6377



編集後記

ピョンヤンで開かれた今年3回目の南北首脳会談で、南北両首脳の間信頼関係がより深まり、期待が膨らみます。こうした情勢を背景に10月28日に平和・統一フェスタ2018を開きます。現在、宣伝活動・チケット販売、アンサンブルの練習など全力投球です。皆さん、ぜひ参加してください。(ソン)

